平生町 議会だより

第 138 号
2015 年 10 月 23 日

発行　平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110　FAX 0820-56-7109
発行責任者　福田　洋明
編　集　議会広報広聴調査特別委員会

赤白両方がんばれ（平生小学校運動会 9 月 20 日）

9月 議会報告

定例会……………………… 2ページ
常任委員会報告……………… 3ページ
いっぱん質問………………… 4～9ページ
研修報告……………………… 10ページ

9月定例会

将来負担比率 7.8% 上昇！（190.1%）

平成27年第6回平生町議会定例会が、9月8日から18日までの10日間の日程で行われ、議案として、補正予算3件、条例2件、同意1件、諮問1件、認定9件、議員提出議案1件が上程されました。
各議案は、全会一致及び賛成多数で可決されました。
一般質問は7人の議員が町政の諸課題について質問しました。

補正予算

2億2,463万円追加
予算総額
51億2,083万円

▽地域課題対策事業
赤子山・ハートピア箕山学習の森整備・竹繁茂対策
153万円

▽負担金
山口県4市6町情報システム共同利用検討会議
190万円

▽地域住民生活等緊急支援事業費
ホームページリニューアル・PR映像作成
1,181万円

▽国民健康保険事業
4,266万円追加

▽介護保険事業
1,765万円追加

条例

▽平生町個人情報保護条例の一部改正

▽平生町手数料徴収条例の一部改正

決算認定

▽歳入
52億4,771万円

▽歳出
50億8,268万円

▽単年度収支
3,675万円

▽実質単年度収支
▲5,420万円

▽将来負担比率
7.8%上昇（190.1）

〈歳入歳出の増額要因〉
臨時福祉給付金事業や子育て支援特別対策事業施設整備によるもの

決算審査意見

▽当初予算の厳守
安易な補正予算を出さない。経過のチェックを常に行う

▽財政基金の積み増し
目標7億円に向けて積み上げる

▽特別会計のスリム化
一般会計からの繰入額の計画的圧縮をする

▽滞納・不納欠損対策

▽経費削減
削減目標を明確に示し、実行する

▽人件費の見直しと人材の有効活用の実施
他

将来負担比率とは、地方公共団体が現在抱えている負債の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。この比率が高いと将来的に財政が圧迫される可能性が高くなります。市町村では350%を超えると、危険水域と考えられています。

教育委員任命

平生町教育委員会委員の鳥枝達典氏の任期満了にともない、後任に現在、平生中学校PTA会長を務められている佐賀地区の銭廣義和氏の任命に、全会一致で同意しました。

銭廣義和さん

人権擁護委員推薦

人権擁護委員の任期満了にともない、佐賀地区の中丸和則氏を再任する諮問が出され、全会一致で承認しました。

中丸和則さん

委員会審査報告

総務厚生常任委員会

平成27年9月9日の本会議から付託を受けた所管事項について、9月14日に慎重に審査した結果、議案は全会一致及び賛成多数ですべて可決及び認定しました。

主な審査経過は次のとおりです。

補正予算一般会計

質 **前年度より歳入の地方交付税が増加した理由は。**

答 人口減少等の条件不利団体への重点措置により増加した。

質 **4市6町情報システム共同利用検討会議の予算措置時期や負担割合は。**

答 上程時期は多くの市町は9月である。

委託するのは各市町の業務量算出等なので、均等負担となる。

質 **財政基金の積立は。**

答 実質収支の2分の1以上の積立規定、交付税確定により措置を受けた部分をあわせ、今後の財政運営を踏まえて基金への積立を前提に補正予算編成を行い、当初予算での取り崩し額は復元した認識になる。

質 **全国移住ナビ、ホームページの再構築の内容は。**

答 移住ナビへ登録する町のプロモーション動画と生活情報・観光情報の制作委託と、専門知識を持たない職員に頼らずに各所管でのホームページ更新を可能とするための経費。

反対討論

▽マイナンバー制度による情報収集は、人権侵害、情報流出危惧がある。

賛成討論

▽財政基金の積み立てての姿勢を評価する。

認定　平成26年度決算

質 **地方バス路線維持対策費の補助金で、町の持ち出しが増えたのは。**

答 路線維持のため構成市町による助成維持を続けていきたい。

反対討論

▽実質単年度収支と将来負担比率の現状と財政運営に対して反対。

▽マイナンバー制度関連を含む決算認定に反対。

産業文教常任委員会

平成27年9月9日の本会議から付託を受けた所管事項について、9月15日に慎重に審査した結果、議案は全会一致で可決及び認定しました。

主な審査経過は次のとおりです。

補正予算一般会計

質 **県から町に移った繁茂竹林整備事業は。**

答 個人の竹林も可能。森林組合の作業委託の2分の1を補助する。再生竹の除去は地権者に行っていただく。

質 **やまぐち森林づくり県民税関連事業を地域コミュニティ活動にあてるのは。**

答 以前より赤子山の整備には提起があり、地域課題対策事業の目的と合致している。

認定　平成26年度決算

質 **水産物供給基盤機能保全事業の漁獲量と長寿命化計画は。**

答 漁獲量は減っているが、魚の単価をあげるため種苗放流を行っている。

質 **スポーツ振興センターへの負担金の内容は。**

答 独立行政法人日本スポーツ振興センターの小学児童保険。

質 **下水道事業の公債費の元金と利子の状況は、今後いつまで続くのか。**

答 事業が終わるまで続き、現段階では償還のピークは平成33年度。

議会改革調査特別委員会設置！

平成27年9月18日の議会にて「議会改革調査特別委員会設置」議案が提出され、全会一致で承認されました。

委員構成は、議長・副議長を除く全議員であり、議長・副議長は、オブザーバーとして参加し採決には加われません。

委員長は、中川裕之議員、副委員長は、河内山宏充議員に決定しました。

淵上正博　議員

いっぱん質問 ここが聞きたい

質 払い込みやすい保険税の納入方法は
答 制度改正に合わせて検討を進める

質

昨年の国民健康保険税の大幅値上げにより、町民の方々からは多くのブーイングが出ている。

そんな中、「値上げしたならば払いやすい方法ぐらいは、考えたらどうか」、こういう声が聞こえてくる。

払いやすい方法として、国保税の納付回数を現在の８回から少しでも払いやすい10回払いが考えられるが、当町の考え方は。

答 町長

国民健康保険制度について、大きな転換期にきていると認識している。それを踏まえて国の方も平成30年となるが、この制度を県に移管するためにプログラム法が改正される方向で動いている。

納期については、８期から10期までと各市町によって対応が異なっているが、現状の国保体制の状況も踏まえながら対応していきたい。

平成27年度　納期表

税目等	納期限			
・国民健康保険税 ・介護保険料 （65歳以上の方） ・後期高齢者医療保険料 （75歳以上の方・一定の障害がある65歳以上の方）	第1期 7月31日	第2期 8月31日	第3期 9月30日	第4期 11月2日
	第5期 11月30日	第6期 12月28日	第7期 2月1日	第8期 2月29日

※納期限が土曜日もしくは休日にあたる場合、その翌日となります。

質 胃がん検診について聞く
答 がん検診を継続できる体制を整備する

質

厚生労働省は、胃がん検診について現在のバリウム検査に加え、内視鏡検査を導入し、検査間隔を１年に１回から２年に１回とするとしている。

私の経験では、内視鏡検査で初期段階のがん組織を見つけ出すのは１年に１回が最適である。２年間経過したがん組織では、早期発見とは言えないが、当町の方針は。

また、50才以上の胃がん検診を１年に１回にした場合の予算措置はいくら必要か。

答 町長

がん検診は継続していかなければならないと認識している。今後も継続できる体制の整備に向けて検討を進めていかなければならない。

答 健康福祉課長

概算であるが個人負担が３割の場合、内視鏡検査が１～1.5万円と聞いているので単純に100人受診すると町の負担が70～100万円、X線検査が100人受診すると50万円となり、町の負担が120～150万円増えると予想される。

最先端の胃部検診車

細田留美子　議員

質　投票率向上に取り組め
答　投票しやすい環境づくりに取り組んでいる

質　近年の投票率の低下や政治への無関心は平生町も同様な傾向である。

投票については

(1)各投票所の立会人の人数と人選は適切か。

(2)子連れでの投票への対応と障がい者への配慮はどうか。

(3)若い世代の投票率向上に向けての取組は。

(4)開票所では男性職員ばかりだが人選方法と開票機械を導入した効果はどうか。

答　選管事務局長

(1)立会人は、法に基づき、選挙管理委員会が各投票選挙所2名選任している。

(2)子連れでの投票については、支障のない限り一緒に投票所に入ることも現実にはある。障害者や高齢者が投票しやすい環境づくりに取り組んでいる。

(3)法改正にあわせて来所しやすい方策を考える。

(4)機械導入の効果については、今年の町議会選挙において開票確定がかなり早くなっている。

質　体育施設の有効利用で人材育成を
答　若い目で地域の元気を出していくことに期待している

質　現在スポーツへの関心が高まり、健康増進への期待もある。体育施設の有効利用を聞く。

教育振興計画の中にも「スポーツを通した地域社会づくり」とある。スポーツを入口に定年世代の男性の地域への参画が進められないか。

各コミュニティ協議会への人材確保に向けて教育委員会と総務課の連携が重要。どう取り組んでいくのか。

答　教育長

スポーツ施設の有効利用は減少傾向である。スポーツを親しむ人口を3人のうち2人はスポーツをするという目標があるが、半分程度の現状である。いかに体育館・武道館を利用していくかである。

公民館主事が若返り20代女性が中心で、若い目で地域の元気を出していくということも大きな期待を寄せている。

みんなで使おう体育館

中本敦子　議員

質　第四次平生町総合計画（前期）全体の総括と合併離脱後の考えは

答　元気な町にしていく・1市4町の連携は定着しつつある

５年目を迎えた総合計画

質

総合計画は、町の最上位計画に位置付けられ、住民一人ひとりが真に住み良さを実感できるまちづくりを進めるとスタートし５年目である。人口が予想以上に減少している現状を含め総括を。

また広域合併を展望しつつ当面は近隣市町と連携しながら広域的な行政課題に対応できる体制の整備に努めるとある。合併協議の大づめで白紙にしたことによる信頼や信用度は大丈夫か。

答　町長

人口減少のカーブをどれだけゆるやかにするか、見直しと後期計画に向けて人口ビジョン等、取り組んで、平生町を元気なまちにして行くこれが基本である。成果指標を導入検証しながら後期計画を進めていく。

柳井地域広域連絡協議会はいろんな取り組みをしている。

１市４町の連携は定着しつつあり合併の流れにつなげるスタンスはかわらない。

質　政府が進める地方創生定住対策を問う

答　支援事業で若者の定住促進を図る

質

一人でも多くの若者を呼び込み町の活性化をめざし『若者よ平生町へ』と定住対策支援事業をどのように進めるか。

他方では今住んでいる住民は便所はくみとり、道はせまい、生活環境に恵まれず、平生町を離れたい、子供には帰ってくるなという現実。

住民と定住対策をどう促進するか問う。

その他の質問

広報戦略について

答　町長

５つの支援事業で若者の定住促進対策を図る取り組みをはじめている。

現に応募者もきている。便所の対応、道、上水道等に個々の課題、案件は住環境整備の観点からそれぞれ個々に対応していきたい。

若者定住に向けての環境整備の一環として対応できるものから対応していく。

佐賀地区若者定住促進住宅

松本武士　議員

質　ＩＣＴの活用

答　先進的な市町村を参考に調査研究を進める

質

超高齢化社会へ向けてＩＣＴを活用していくべきと考えているが、町は積極的に推進する考えがあるのか。

遠隔妊婦健診、母子手帳のデジタル化、遠隔健康診断等はできないかを「柳井医療圏地域医療構想策定協議会」にて他の市町長と協議してみてはどうか。

テレワークやサテライトオフィス等の働き方を「平生町特定事業主行動計画」の中で推進できないか。

答　町長

県内一番の健康寿命をさらに延ばすため、ICT活用を視野に入れてコミュニティ協議会、公民館活動と連携して進めていく。

ICTを活用した医療のあり方は当然大きなテーマとなる。柳井医療圏協議会で議論していく。

テレワークやサテライトオフィスについてはITインフラ等ハード面など考えながら先進的取り組みをしている徳島県神山町などを参考に進めていく。

「ＩＣＴ」は、情報通信技術の略
「テレワーク」は、ＩＣＴを活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。
「サテライトオフィス」は、本拠以外で遠隔勤務できる通信設備を備えたオフィスのこと。

質　通学路の安全対策

答　標識設置は地元と警察署と協議、前向きに進める

質

中学校付近にゾーン30が設定されたが、今後どのように効果検証を行うのか。

つばさ保育園から新地への通学路は約４ｍと狭く、つばさ保育園のバスも通り危険性が高いと考えるが、通学路の表示や速度表示、ゾーン30の施行など安全対策を行ってはどうか。

答　町長

平生中周辺で９月１日よりゾーン30を運用開始している。効果の検証は、地元・町からの意見を警察に伝え対応してもらう。周知について遅れた面もあるが今後広報等を通じやっていく。

答　総務課長

通学路という標示を起点・終点に設置したいと考えている。

平生中付近に設定されたゾーン30

河内山宏充　議員

質　都市計画道路はどうなった

答　見通しがつきしだい説明したい

質　都市計画道路は、町内７路線、総延長は１９，８８０メートル昭和49年１月25日に決定されている。

既に40年以上の歳月を要し、都市計画そのものの信頼性を失わせていないか。

国道１８８号線平生バイパス未整備区間をはじめ他の未着工道路はいつ完成するのか。不安を抱く関係者にも全く情報が知らされない。

都市計画税の導入も含めて都市計画道路は一体どういう状況なのか尋ねる。

答　町長　昭和49年、７路線都市計画が決定されている。指摘のとおり、決定後40年以上未着手箇所があることで、各方面に心配をかけている。

早期着工に向けて、今後とも関係機関に強く要望し、見通しがつきしだい、関係者に説明したい。

都市計画税の関係についてはしっかり状況を踏まえて判断したい。

平生町都市計画道路の未着手延長について

路線番号	路線名	未着手延長
331	平生バイパス	3,100m のうち 900m
342	桜町線	完成済み
343	平生町曽根線	2,790m のうち 1,490m
344	中央線	1,620m のうち 720m
345	臨港線	6,480m 着手してない
346	天池線	1,360m のうち 860m
347	平生横幹線	3,190m のうち 490m

質　いじめ対策は大丈夫か

答　いじめ防止基本方針に沿って取り組んでいる

質　岩手県矢巾（やはば）町でおきた男子生徒の自殺事案の調査報告書によると矢巾町の中学校では「いじめ防止基本計画」を策定済であったにも関わらず対策自体が形骸化し機能していなかったことが判明している。

平生町の各学校でも「がっこういじめ防止基本計画」を策定し、いじめ対策に取り組んでいるが、対策自体は形骸化せず実施され子供の変化は共有化されているか尋ねる。

答　教育長　26年４月にいじめ防止基本方針を策定し、学校ウェブサイトで公表するとしているが公表していない。

学校だより、ＰＴＡ総会、学校運営協議会、いろんな会議で報告、説明をし共有をはかっているので公表と考えている。

一年経過し見直しをするなど取り組みをしており形骸化はしていない。

なかよく勉強、複式学級

河藤泰明　議員

質 福祉の仕組みの再構築を

答 サービス提供者と連携し、基盤をつくり上げる

質 福祉の現場で誰もが生きがいを感じる仕組みを充実し、継続することが最も重要だ。

志を持って福祉に従事し働き続けたい方が、継続して働けない。何年も勤続しても給料が上がらない。仕事に対する公平な対価としての給料が支払われないような事は決してあってはならない。

事業を精査し仕組みを再構築してはどうか。

人材の育成・確保も町の責務ではないか。

答 町長 福祉サービスを提供する側とされる側がしっかり生きがいが持てるこれは当然あるべき姿である。

福祉制度も多様化している。サービスを担っていける主体の基盤をしっかりつくってもらうと同時に提供者との連携も十分とりたいと考えている。人材確保が非常に大事になっている。情報公開も含めて連携と協議ができるよう対応したい。

社会福祉協議会（あいあむ）

岩本ひろ子　議員

質 ふるさと納税の状況について

答 順調に滑り出している

質 今年度から、町の特産品を贈るなど取り組みをされているが、我が町を選んで納税された方々の好意を無駄にしないためにも納税をきっかけとした人脈ネットワークづくりや、付き合いを継続させ今後増やしていく為の取り組みを問う。

寄附金の使い道の透明化を持つという事から「ふるさとまちづくり応援寄附条例」を制定することについて問う。

答 町長 ふるさと納税は今年から地場産品を活かし、既に前年度と同じ21件の寄附があったことにより、順調に滑り出していると思う。寄附金の活用はいただく時町が掲げている、実践テーマで使い道を選んでもらっている。また広報紙で平生の情報を送付している。

寄附をされた方の中には、使い方は町にお任せするという方も多いので、どういう使い方をしたのかを規定を組んでするのかどうかを含め、透明度が上がる方法を考える。

みなさんも協力して下さい。
ふるさと納税

議会研修報告

柳井地区広域市町議会議員研修会

柳井地区広域市町議会議員研修会が、７月28日柳井市のベルゼで開かれました。

講師に三重県地方自治研究センター上席研究員の高沖秀宣氏を迎え「二元代表制における地方自治体のあり方」と題した講演を聴きました。

自治体議会を巡る問題状況、「議会と首長は車の両輪」説に対する疑問、議会改革とはについての研修でした。平生町においても議会改革が必要ということで、この度「議会改革調査特別委員会」を設置し取り組むことになりました。

山口県町議会実務研修会

平成27年度山口県町議会実務研修会が８月27日山口市のセントコア山口で開かれました。

講師に環太平洋大学准教授の林紀行氏を迎え「滅び行く議会と生き残る議会」と題した講演を聴きました。

地方創生と地方議会で総合戦略の策定過程での役割（政策立案機能）（監視機能）、運用過程でのチェックの役割等の話を聴きました。これからは人口減少を前提とした自治体経営が出来る議会活動をすすめていきたいと思いました。

議会の動き

（H27・6／15～H27・9／7）

27年

6月15日～24日　第４回定例会
7月3日　議会広報広聴調査特別委員会
7月6日　産業文教常任委員会視察研修
7月10日　議会広報広聴調査特別委員会
7月15日　議会広報広聴調査特別委員会
7月23日　議会運営委員会
7月28日　柳井地区広域市町議会議員研修会
8月10日　全員協議会
〃　第５回臨時会
8月17日　産業文教常任委員会
〃　議会広報広聴調査特別委員会
8月21日　総務厚生常任委員会
8月24日　議会運営委員会
8月26日　議会全員協議会
8月27日　町議会実務研修
9月7日　9月定例農業委員会総会

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

・字　数　４００字以内
・提出先　平生町役場議会事務局　議会広報担当者

紙面の都合で一部変更することもありますが、ご了承願います。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

10月に入り朝夕めっきり涼しくなり、秋らしくなってきました。

10月17日からねんりんピックおいでませ！山口２０１５（第28回全国健康福祉祭やまぐち大会）が開かれ平生では囲碁交流大会が行われ全国から１８０名の選手をお迎えして熱い戦いが行われました。

全国各地から集まる選手と交流を深め新たな友人を増やして頂けたと大変うれしく思っています。

旧平生町・大野村・曽根村・佐賀村の４町村の合併により現平生町制を施行してから本年60周年を迎え、10月31日には平生町制施行60周年式典が行われます。現在では6カ所のコミュニティ協議会を立ち上げつつ、地区ごとでまちづくりに頑張っておられます。住み良い平生町になる事を願っています。

岩本ひろ子